

令和7年度 水田園芸推進研修会開催要領

1 目 的

水田を活用した農業において所得を確保し、経営を継続していくため、機械化や省力化が可能な6品目を選定し、栽培技術の向上、機械の共同利用、広域利用施設の整備等による産地化を進めた結果、水田園芸の取組が拡大している。

しかしながら、栽培技術の定着が不十分なことや規模拡大に必要となる機械整備が進んでいないことなどから、小規模な取組に留まっている状況もみられる。

そこで、生産性の向上や労力補完の仕組みづくりなどの事例を共有し、地域での水田園芸品目の規模拡大や新たな作付に向けた取組を考える契機とするため、推進研修会を開催する。

2 日 時

令和8年1月26日（月） 13：30～16：30

3 場 所

ビッグハート出雲「白のホール」（島根県出雲市駅南町1丁目5番地）

※隠岐、松江、安来、浜田、邑智、益田にリモート会場設置

4 参集者

集落営農組織、認定農業者、認定新規就農者などの農業者
市町村、島根県農業協同組合、島根県などの関係機関

5 共 催

島根県農林水産部産地支援課、島根県農業協同組合、株式会社JAアグリ島根

6 内 容

（1）基調講演（60分）

JA大潟村における“たまねぎ”産地化推進事例について

〈講師〉JA大潟村タマネギ生産組合 組合長 松本 正明 氏

大潟村農業協同組合営農支援課 係長 宮国 淳 氏

（2）情報提供（35分）

（仮）野菜の需要・販売動向と産地と連携したキャベツ等の生産拡大の取組について

〈提供者〉全国農業協同組合連合会加工業務直販課 課長 坂本 和士 氏

（3）事例発表（50分）

タマネギにおける労力補完の仕組みづくりと生産性の向上

〈発表者〉西部農林水産振興センター農業振興部 農業普及員 田中 暢 氏

ブロッコリー等露地作物栽培の生産性向上による経営規模拡大

〈発表者〉株式会社岡農産 代表取締役社長 岡 舗潔 氏

東部農林水産振興センター出雲事務所 課長 大倉 角栄 氏

技師 執行 俊輔 氏

（4）その他（県、JAからの情報提供）（10分）